

2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年5月25日

上場会社名 ヒーハイト精工株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6433 URL <http://www.hephaist.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 尾崎 浩太
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 佐々木 宏行 (TEL) 049-273-7000
 定時株主総会開催予定日 2020年6月25日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月26日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日~2020年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	2,319	△15.7	△21	—	△25	—	△342	—
2019年3月期	2,750	4.8	177	△21.0	177	△24.5	111	△32.7

(注) 包括利益 2020年3月期 △344百万円(—%) 2019年3月期 104百万円(△38.5%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	△54.47	—	△10.8	△0.6	△0.9
2019年3月期	17.80	—	3.4	3.6	6.5

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 —百万円 2019年3月期 —百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	4,253	2,961	69.6	480.62
2019年3月期	4,893	3,374	69.0	534.58

(参考) 自己資本 2020年3月期 2,961百万円 2019年3月期 3,374百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	△79	△134	83	819
2019年3月期	254	△211	△199	951

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2019年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00	25	22.5	0.8
2021年3月期 (予想)	—	0.00	—	—	—	—	—	—

(注) 2021年3月期の配当予想につきましては、現時点では未定としています。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大による影響を合理的に算定することが困難なことから、現時点では未定としています。業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに開示いたします。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
 ② ①以外の会計方針の変更： 無
 ③ 会計上の見積りの変更： 無
 ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数

2020年3月期	6,316,700株	2019年3月期	6,316,700株
2020年3月期	153,984株	2019年3月期	3,984株
2020年3月期	6,295,912株	2019年3月期	6,289,143株

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年3月期の個別業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	2,278	△16.6	△34	—	△40	—	△356	—
2019年3月期	2,731	6.2	174	△14.7	173	△18.6	109	△26.0
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2020年3月期	△56.55		—					
2019年3月期	17.40		—					

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	4,209	2,919	69.4	473.77
2019年3月期	4,858	3,343	68.8	529.65

(参考) 自己資本 2020年3月期 2,919百万円 2019年3月期 3,343百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報等)	10
(1株当たり情報)	10
(重要な後発事象)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府の経済対策、金融政策等の効果を背景とする企業収益の改善が、雇用・所得環境の改善や設備投資の増加につながり、緩やかな回復基調にありましたが、消費税の増税、相継ぐ自然災害等により景況感が悪化したことに加え、米中貿易摩擦の長期化、新型コロナウイルス感染拡大等の懸念事項も多く、世界経済の先行き不透明感が増しております。

このような状況のもと、当社グループは「不易流行」を経営方針に掲げ、経営理念等のいつまでも変化しない本質的な「不易」に、時代や環境に合わせて変えるべき「流行」を取り入れ、継続的に現場改善等に取り組み、さらに、新型コロナウイルス感染予防等のリスクマネジメントも講じ、供給体制を維持して参りました。

しかしながら、当連結会計年度の売上高は主力製品の直動機器を中心に精密部品加工、ユニット製品のすべての品目で売上が減少し、2,319,458千円（前連結会計年度比15.7%減）となりました。

利益面につきましては、原価低減が図られたものの、将来を見据えた内製化強化のための設備投資に対する先行投資による償却費や修繕費の増加等により、営業損失21,428千円（前連結会計年度は、営業利益177,979千円）、経常損失25,502千円（前連結会計年度は、経常利益177,274千円）、特別損失に減損損失を計上したことにより、親会社株主に帰属する当期純損失342,956千円（前連結会計年度は、親会社株主に帰属する当期純利益111,975千円）となりました。

主力製品であります直動機器につきましては、輸出や設備投資の低迷により、産業用機械業界等からの受注が落ち込み、当連結会計年度の売上高は1,241,919千円と前連結会計年度と比べ375,186千円の減少（前連結会計年度比23.2%減）となりました。

精密部品加工につきましては、レース用部品を中心に顧客からの高精度化や短納期の要望に応え続けてきましたが、顧客の調整局面もあり、売上高は804,417千円と前連結会計年度と比べ43,151千円の減少（前連結会計年度比5.1%減）となりました。

ユニット製品につきましては、国内向けのレポート需要はあったものの、中国向けの減少により、売上高は273,122千円と前連結会計年度と比べ12,354千円の減少（前連結会計年度比4.3%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は4,253,756千円となり、前連結会計年度末と比べ639,863千円の減少となりました。主な要因は、減損損失を計上したことにより有形固定資産が364,847千円の減少、現金及び預金131,859千円、売上債権161,664千円の減少によるものであります。

負債は1,291,852千円となり、前連結会計年度末と比べ227,095千円の減少となりました。主な要因は、社債130,000千円、長期借入金44,692千円の増加に対し、仕入債務333,846千円の減少によるものであります。

純資産は2,961,903千円となり、前連結会計年度末と比べ412,768千円の減少となりました。主な要因は、自己株式43,200千円の増加、利益剰余金368,207千円の減少によるものであります。その結果、当連結会計年度末における自己資本比率は69.6%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、819,706千円となり、前連結会計年度末と比べ131,859千円の減少となりました。

当連結会計年度末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、主に減価償却費160,754千円、売上債権の減少額160,943千円による資金の増加に対し、仕入債務の減少額332,193千円、法人税等の支払額66,012千円による資金の減少により、使用した資金は79,081千円（前連結会計年度は254,249千円の収入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に有形固定資産の取得による支出94,018千円により、使用した資金は134,396千円（前連結会計年度は211,497千円の支出）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に長期借入金の返済による支出155,308千円、自己株式の取得による支出43,200千円による資金の減少に対し、長期借入金による収入200,000千円、社債の発行による収入130,000千円による資金の増加により、得られた資金は83,738千円（前連結会計年度は199,020千円の支出）となりました。

当社グループのキャッシュ・フロー指標のトレンドは下記のとおりであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
自己資本比率(%)	74.0	68.5	66.1	69.0	69.6
時価ベースの自己資本比率(%)	34.8	33.6	84.1	38.5	28.8
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	2.8	1.9	1.3	1.5	△7.0
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	28.3	60.8	104.4	64.7	△28.1

自己資本比率：自己資本/総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額/総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債/営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー/利払い

(注) 1. いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

2. 株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

3. 有利子負債は、貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。また、利払いにつきましては、キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染拡大による世界経済への悪影響の長期化が懸念される一方で、長期的には中国における産業への設備投資の伸張、IoTやAIの進展による省人化、機械化、合理化の設備投資の期待もあると予想されます。

しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大の影響が見通せず予想が困難となりますので、2021年3月期の業績予想は現時点では未定とさせていただきます、業績予想が可能となった時点で速やかに公表いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

なお、IFRSにつきましては、今後も制度動向等を注視して参ります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	951,565	819,706
受取手形及び売掛金	368,058	251,621
電子記録債権	414,931	369,702
商品及び製品	168,805	164,369
仕掛品	483,844	423,114
原材料及び貯蔵品	194,720	190,168
その他	46,094	58,428
流動資産合計	2,628,019	2,277,110
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,846,160	1,858,608
減価償却累計額	△1,244,408	※ △1,281,671
建物及び構築物（純額）	601,751	576,936
機械装置及び運搬具	1,227,740	1,323,150
減価償却累計額	△928,280	※ △1,165,623
機械装置及び運搬具（純額）	299,459	157,527
工具、器具及び備品	299,109	318,359
減価償却累計額	△245,782	※ △294,557
工具、器具及び備品（純額）	53,326	23,801
土地	1,063,504	1,063,504
減損損失累計額	—	△154,538
土地（純額）	1,063,504	908,966
リース資産	153,869	158,765
減価償却累計額	△112,135	※ △138,424
リース資産（純額）	41,734	20,340
建設仮勘定	3,412	10,769
有形固定資産合計	2,063,189	1,698,341
無形固定資産	17,852	24,628
投資その他の資産		
保険積立金	120,922	148,872
繰延税金資産	55,197	99,379
その他	8,438	5,422
投資その他の資産合計	184,559	253,674
固定資産合計	2,265,600	1,976,645
資産合計	4,893,619	4,253,756

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	545,502	197,485
電子記録債務	164,835	179,005
短期借入金	30,000	30,000
1年内償還予定の社債	—	23,000
1年内返済予定の長期借入金	147,749	137,782
リース債務	21,637	13,207
未払法人税等	43,824	799
賞与引当金	24,994	31,971
営業外支払手形	10,787	2,496
営業外電子記録債務	—	38,069
その他	148,007	80,403
流動負債合計	1,137,338	734,221
固定負債		
社債	—	107,000
長期借入金	170,361	225,020
リース債務	22,563	13,359
役員退職慰労引当金	115,040	126,577
退職給付に係る負債	72,046	82,635
その他	1,598	3,039
固定負債合計	381,609	557,631
負債合計	1,518,948	1,291,852
純資産の部		
株主資本		
資本金	732,552	732,552
資本剰余金	679,512	679,512
利益剰余金	1,957,701	1,589,494
自己株式	△716	△43,916
株主資本合計	3,369,049	2,957,642
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△95	556
為替換算調整勘定	5,717	3,704
その他の包括利益累計額合計	5,622	4,260
純資産合計	3,374,671	2,961,903
負債純資産合計	4,893,619	4,253,756

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	2,750,151	2,319,458
売上原価	2,059,027	1,855,093
売上総利益	691,124	464,365
販売費及び一般管理費	513,144	485,794
営業利益又は営業損失(△)	177,979	△21,428
営業外収益		
受取利息	439	312
有価証券利息	458	1,304
受取配当金	35	659
受取手数料	4,305	1,815
補助金収入	4,814	1,791
その他	1,440	468
営業外収益合計	11,492	6,352
営業外費用		
支払利息	3,871	2,736
社債発行費	—	2,012
為替差損	8,322	5,129
その他	3	547
営業外費用合計	12,197	10,426
経常利益又は経常損失(△)	177,274	△25,502
特別利益		
固定資産売却益	67	14
特別利益合計	67	14
特別損失		
固定資産除却損	1,434	534
減損損失	—	355,228
ゴルフ会員権評価損	—	436
特別損失合計	1,434	356,200
税金等調整前当期純利益 又は税金等調整前当期純損失(△)	175,907	△381,687
法人税、住民税及び事業税	68,836	5,736
法人税等調整額	△4,904	△44,468
法人税等合計	63,932	△38,731
当期純利益又は当期純損失(△)	111,975	△342,956
親会社株主に帰属する当期純利益 又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	111,975	△342,956

連結包括利益計算書

	(単位：千円)	
	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益又は当期純損失(△)	111,975	△342,956
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,647	651
為替換算調整勘定	△4,412	△2,013
その他の包括利益合計	△7,060	△1,361
包括利益	104,915	△344,317
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	104,915	△344,317

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	717,495	664,455	1,870,689	△715	3,251,924	2,551	10,130	12,682	3,264,606
当期変動額									
譲渡制限付株式報酬	15,057	15,057			30,114				30,114
剰余金の配当			△24,964		△24,964				△24,964
親会社株主に帰属する当期純利益			111,975		111,975				111,975
自己株式の取得				△0	△0				△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△2,647	△4,412	△7,060	△7,060
当期変動額合計	15,057	15,057	87,011	△0	117,125	△2,647	△4,412	△7,060	110,065
当期末残高	732,552	679,512	1,957,701	△716	3,369,049	△95	5,717	5,622	3,374,671

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	732,552	679,512	1,957,701	△716	3,369,049	△95	5,717	5,622	3,374,671
当期変動額									
剰余金の配当			△25,250		△25,250				△25,250
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△342,956		△342,956				△342,956
自己株式の取得				△43,200	△43,200				△43,200
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						651	△2,013	△1,361	△1,361
当期変動額合計	—	—	△368,207	△43,200	△411,407	651	△2,013	△1,361	△412,768
当期末残高	732,552	679,512	1,589,494	△43,916	2,957,642	556	3,704	4,260	2,961,903

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	175,907	△381,687
減価償却費	148,369	160,754
減損損失	—	355,228
株式報酬費用	11,292	15,057
受取利息及び受取配当金	△932	△2,276
補助金収入	△4,814	△1,791
支払利息	3,871	2,736
有形固定資産売却損益 (△は益)	△67	△14
有形固定資産除却損	1,434	534
ゴルフ会員権評価損	—	436
売上債権の増減額 (△は増加)	37,809	160,943
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△97,793	68,782
仕入債務の増減額 (△は減少)	49,298	△332,193
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△281	7,030
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	11,351	11,536
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△13,000	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	8,440	10,589
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△8,268	△23,631
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	13,604	△69,597
その他の固定資産の増減額 (△は増加)	△210	75
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	—	2,400
その他	3,214	2,552
小計	339,227	△12,533
利息及び配当金の受取額	932	2,276
利息の支払額	△3,929	△2,811
法人税等の支払額	△81,980	△66,012
営業活動によるキャッシュ・フロー	254,249	△79,081
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△50,000	△50,000
有価証券の償還による収入	50,000	50,000
有形固定資産の取得による支出	△189,194	△94,018
有形固定資産の売却による収入	80	80
無形固定資産の取得による支出	△1,282	△12,577
投資有価証券の取得による支出	△5	△6
投資有価証券の売却による収入	—	26
その他	△21,094	△27,900
投資活動によるキャッシュ・フロー	△211,497	△134,396
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	200,000
長期借入金の返済による支出	△147,516	△155,308
社債の発行による収入	—	130,000
自己株式の取得による支出	△0	△43,200
リース債務の返済による支出	△26,702	△22,529
配当金の支払額	△24,801	△25,224
財務活動によるキャッシュ・フロー	△199,020	83,738
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,791	△2,119
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△161,060	△131,859
現金及び現金同等物の期首残高	1,112,626	951,565
現金及び現金同等物の期末残高	951,565	819,706

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(連結損益計算書関係)

前連結会計年度において、営業外収益の「その他」に含めていた「受取配当金」は、金額的重要性が増したため、当連結会計年度より独立掲記することとしております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結損益計算書において、営業外収益の「その他」に表示していた1,475千円は、営業外収益の「受取配当金」35千円、「その他」1,440千円として組替えております。

(連結貸借対照表関係)

※ 減価償却累計額には、減損損失累計額を含めて表示しております。

(セグメント情報等)

当社グループは、精密機器製造事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	534.58円	480.62円
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)	17.80円	△54.47円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	111,975	△342,956
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益又は親会社株主に帰属する 当期純損失(△)(千円)	111,975	△342,956
普通株式の期中平均株式数(千株)	6,289	6,295

(重要な後発事象)

該当事項はありません。